

平成24年産 紀南の梅産地情報

.12/04/25

1. 4月24日の定点調査結果は、全ての品種で結実率が低く古城・南高の着果は前年・平年より非常に少なかった。小梅も着果は前年に比べ非常に少なく、平年に比べ少ない状況であった。果実肥大から見た生育は、当初の遅れが回復しており平年比80%を割っているが、ほぼ前年並みに回復してきている。



定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と結実率（4/24時点）

品 種	平年 (H14~23)		平成23年		平成24年				
	結実率	着果数	結実率	着果数	結実率	着果数	平年比	23年比	作柄指数
小 梅	31.4%	123	37.0%	154	29.0%	91	73%	59%	8.2
古 城	6.0%	22	5.4%	19	3.8%	11	52%	62%	5.8
南 高	12.8%	49	15.2%	49	8.7%	24	50%	49%	6.1
在来系	11.7%	42	8.9%	30	7.3%	23	55%	76%	7.0

2. 梅部会まとめの4月20日時点の生産予想量は、小梅873トﾝ（前年比83%、平年比87%）、古城532トﾝ（前年比68%、平年比50%）、南高15,300トﾝ（前年比62%、平比68%）、在来系432トﾝ（前年比71%、平年比58%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
3. 出荷販売時期は、果実の生育がやや回復していることから、前年に比べ2日、平年に比べ7日程度の遅れで、現時点では小梅・古城は昨年並みの5月20日頃から、南高では6月初旬からの販売を予定している。
4. 結実後の気象は、3月下～4月上旬の気温は低く推移したが、4月中旬では平年並みとなっている。降水量は前年・平年に比べやや少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	22年	23年	24年	平年	22年	23年	24年
3月下旬	11.7	9.4	9.2	10.9	51.1	50.5	36.0	81
4月上旬	13.8	13.9	13.9	12.3	50.0	44.0	27.5	35
4月中旬	15.1	13.9	14.0	15.6	55.5	56.5	14.5	48.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）